

# 特殊詐欺対策ニュース

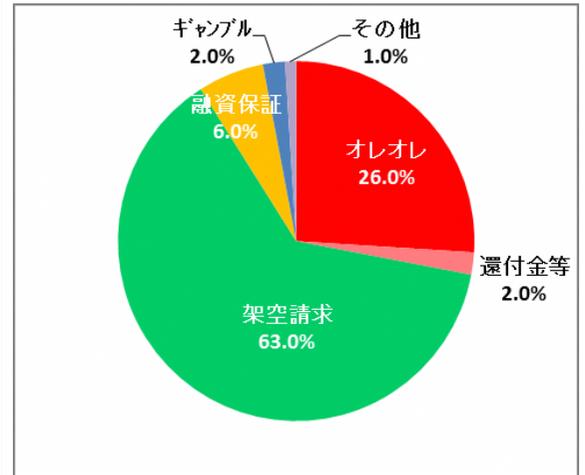
令和元年 12 月  
警察本部生活安全企画課

## 特殊詐欺認知状況（11月末）※暫定値

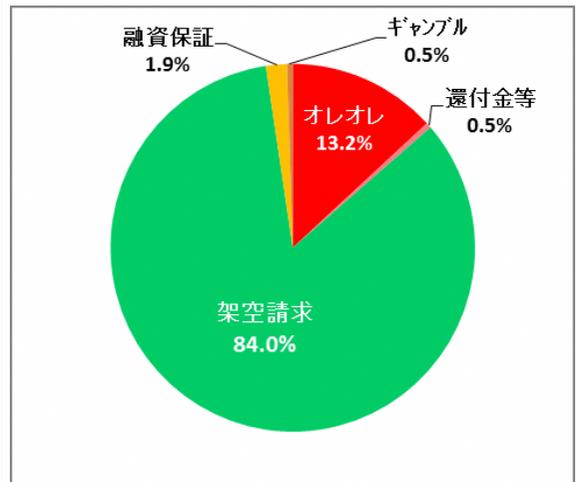
### 1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害金額
特殊詐欺	R1	100	301,674,420
	H30	138	329,364,084
	増減数	-38	-27,689,664
振り込め詐欺	R1	97	300,155,490
	H30	130	313,331,004
	増減数	-33	-13,175,514
オレオレ詐欺	R1	26	39,710,000
	H30	31	101,782,000
	増減数	-5	-62,072,000
架空請求詐欺	R1	63	253,392,527
	H30	67	190,546,950
	増減数	-4	62,845,577
融資保証金詐欺	R1	6	5,620,166
	H30	15	11,924,045
	増減数	-9	-6,303,879
還付金等詐欺	R1	2	1,432,797
	H30	17	9,078,009
	増減数	-15	-7,645,212
振り込め詐欺以外の特殊詐欺	R1	3	1,518,930
	H30	8	16,033,080
	増減数	-5	-14,514,150
金融商品等	R1	0	0
	H30	1	4,000,000
	増減数	-1	-4,000,000
異性交際あっせん	R1	0	0
	H30	3	3,012,000
	増減数	-3	-3,012,000
ギャンブル必勝法	R1	2	1,479,000
	H30	4	9,021,080
	増減数	-2	-7,542,080
その他	R1	1	39,930
	H30	0	0
	増減数	1	39,930
特殊詐欺類似窃盗	R1	49	104,135,508
	H30	12	26,271,000
	増減数	37	77,864,508

【認知件数の内訳】



【被害金額の内訳】



※ 特殊詐欺類似窃盗～  
警察官等を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正利用されている」等の名目により、キャッシュカードを準備させた上で、隙を見るなどし、同カードを窃取するもの。

### 2 11月中に認知した主な事件

#### (1) 会社にファクスで案内が送られる融資保証金詐欺(約30万円被害)

被害者の会社のファクスに、融資会社を騙り融資を募る案内が送信され、融資を受けるため申込書をファクス送信したところ、融資会社の社員を名乗る男から「**融資手続の手数料が必要です。**」などと電話があり、指定された口座に約30万円を振り込みだまし取られた。

#### (2) キャッシュカードすり替え型特殊詐欺類似窃盗(約1,000万円被害)

警察官を名乗る男や金融庁を名乗る女から、「**銀行員と暴力団がつながっている犯罪が発生していて、あなたの名前が出てきました。**」「**口座をチェックするので、キャッシュカードを預からせていただきます。**」などと電話があり、警察官を名乗る男が訪れ、封筒にキャッシュカードを入れるように言われ、被害者が目を離した隙に封筒に入れたキャッシュカード8枚が、すり替えられて盗まれて約1,000万円引き出された。

- 令和元年11月末における特殊詐欺の認知件数は100件で、前年同期に比べ38件(27.5%)減少しています。
- 同被害額は約3億200万円で、前年同期に比べ約2,800万円(8.4%)減少しています。
- 特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者(65歳以上)の割合が約5割(53.0%)となっています。
- 特殊詐欺被害者の居住形態は、家族と同居している割合が約6割(57.0%)となっています。
- ★ 特殊詐欺類似窃盗が認知件数、被害額とも前年同期に比べ約4倍と大幅に増加しています。
- ★ 東京簡易裁判所を騙り、契約不履行による訴状が提出されたと不安をおおる「封書」が道内に送付されています。
- ★ 弁護士事務所を騙り、「未納料金お支払いのお願い」と題した、「圧着ハガキ」が道内でも確認されています。